

岐阜県議会議員 平野タイムズ

VOL.18

平野祐也のプロフィール



1984(S59)年12月生まれ
 緑苑小▷緑陽中▷岐阜北高
 ▷名古屋大学法学部卒
 ▷三菱商事(東京・米国)11年勤務
 ▷2019年岐阜県議会議員(1期目)

2019年春、10才から夢みた政治家となり、明るい未来を創るためのスタートラインに立つ。サラリーマン家庭の男3人兄弟、次男。中学・高校時代はバスケットに熱中。大学時代は各務原市議会議員の下で議員インターンシップに参加。現在は妻、子供2人と鶯沼山崎町在住。

発行日
2022年 薫風号

平野祐也 最近の活動は
 で検索!



各務原から
 創る。の
 岐阜県
 未来を。

ホームページ

常任委員会決定! 農林委員会 副委員長に就任!



5月に臨時議会が開催され、令和4年度に所属する常任委員会が決定しました!平野祐也は希望が叶い「農林委員会」に配属されました。農林委員会とは、岐阜県における農林水産業を所管し、予算や政策を審議する場所です。今回は「副委員長」として委員会の運営にも初めて携わります。気を引き締めて頑張ります!



恵那市にて、電子罟導入の住民勉強会への視察風景



山県市にて息子と溪流釣り体験

ちなみに、岐阜県の農業は全国で見ると、「1農家あたりの耕作地面積が最小」という難題を抱えています。また林業は県の面積に占める「森林比率が高知県に次ぐ第2位」という森林県でもあります。平野祐也は商社時代に海外の農水産物・林業に関わる部署を担当しており、日本の農林水産業には強い危機感を持っています。これまでも県議会において、「農業における新規担い手の育成」、「ウッドショックへの対応」、「Jクレンジットの導入」、「野生イノシシ捕獲罟の電子化」、「有機農業の促進」、「昆虫食の推進」等を提言してきたので、しっかりと課題解決に向けて動いて行きたいと思えます。最近では溪流釣りにも興味を持っていますので、漁業分野も勉強して行きたいと思えます!

川島大橋 早期復旧への道 VOL.6



4/26 時点の状況※岐阜国道事務所HPより引用

4月に入り橋の撤去が始まり、見るたびに工事が進捗しています。現状旧橋の撤去作業と、歩道橋の設置に向けて工事を進めています。県庁職員も「やはり国の権限代行は仕事及早くて驚きを隠せない」とのことです!引き続き国と市と連携して早期復旧に向けて取り組んで参ります!

現状と今後

- 「被災した川島大橋の撤去」↓橋桁撤去に向け、コンクリート床版の撤去
- 「歩行者用の仮橋設置」↓右岸側は、引き続き、応急組立橋の設置。左岸側も引き続き、矢印の方向に向かって、仮橋の施工
- 「本復旧(新橋)の検討」↓引き続き、地質調査を行います。

※本復旧(新橋)設置は、決まり次第ご案内します。

県有施設探訪

県有施設活用に関する
 ワンストップ相談窓口の
 開設について

平野祐也が一般質問において「県有施設の活用」に民間アイデアの採用すべき」との質問に対して、岐阜県として「ワンストップ窓口を設置する」との回答を得たものが、遂に実現しました!県有施設に関して、例えば「キッチンカーを出したい」とか「土日の駐車場を活用してイベントをしたい」等の要望に対して、県として窓口を設置しました!今後は県有施設であれば民間で活用したいアイデアがあればワンストップ窓口にて対応して貰えます!これまでは県有施設については、各施設毎に責任者がおり、個別に対応しないとダメでしたが、今後は一元化されます。もしも県立公園でイベントがやりたいとか、要望があれば是非お問い合わせください!

皆さまの活用アイデアを募集しております!



大盛況であった県立各務原公園の移動動物園

平野祐也の岐阜 未来タイムズ

VOL.18

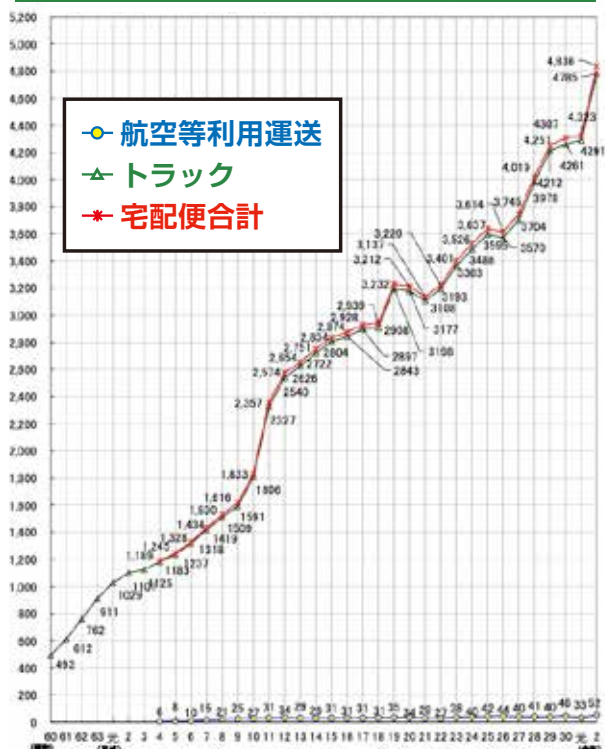
物流が岐阜県を変える?!
ど真ん中岐阜の未来。



ドローンを使った実証実験の様子

コロナ禍で大きく変わったものの一つに「買い物」が挙げられると思います。百貨店や都市部にお出かけて買物をするということが減った代わりに、「通販」が大きく伸びています。家に某大手通販サイトの段ボールが増えた方も多くいるのでは無いでしょうか。国土交通省によると、令和2年度の宅配便取扱個数は過去最多の48億個を超え、通販サイトの充実とコロナ禍による巣ごもり需要が反映される結果となっています。もちろんそうした荷物を運んでくれるのが物流会社です。取り扱った数量が莫大に増えたことや、少子高齢化、人材不足も相まって、例えば年賀状の配達・回収日も減ってきています。そうした中で物流会社も大きく変わろうとしています。身近なところで言えば、セイノーホールディングスさんがドローン等を活用して過疎地の配送について物流各社で協力して集約化を図ろうとしている事例は

宅配便取扱個数の推移



大きく全国ニュースで取り上げられました。このサービスは現在山梨県や北海道、福井県、千葉県、山口県、新潟県の市町村の過疎地帯で実証実験が進められています。平野祐也の公約の三本柱の一つに「ど真ん中岐阜を産業拠点に！」があり、その中で「日本の中心で津波対策が不要な海無し県の長所を活用」というものはまさに「物流拠点化」を意図しています。最新の物流倉庫事情は大きく変わっており、昔の倉庫街というよりはお洒落な公園やカフェが併設される一つの

街のようになっていきます。名古屋はもちろん、東京と大阪の間で北陸にも繋がる岐阜県の立地は、日本の中でも屈指の物流拠点の潜在力を秘めていると思います。実際にAmazonの倉庫が多治見にあるように、各務原IC付近や岐阜県他市においても魅力溢れる立地環境は多いと思います。実際に政府はデジタルインフラの地方分散のために、膨大なデータを管理する「データセンター」の移転を進めようとしています。岐阜県では東濃地方の恵那市・多治見市・中津川市が各乗りを上げています。今やインターネット通信も含めて「物流インフラ」の一つです。コロナ禍で「ヒト」の動きは制約されましたが、その分「モノ」や「情報通信」の動きは無制限に拡大を続けています。岐阜県や各務原市を「日本の物流拠点に」という想いは日増しに大きくなってきています。また皆様のご意見をお聞かせください。

政治に無関心でも
政治と無関係では
いられない。



LINE公式アカウント



「こんな岐阜県がいいな」を聞かせてください。

携帯：080-9705-1004 住所：〒509-0136 松が丘2-177
TEL/FAX：058-372-2188 Mail：info@yuyahirano.com

平野祐也の 未来タイムズ

もっと詳しく
岐阜を語らせて
ください!



各務原から
創ろう。
岐阜県の
未来。



ぜひチャンネル登録も宜しくお願いします!

